

# 地域の わ 通信

Kanagawa-ku  
Chiiki ryoku

神奈川区の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介する地域情報紙です。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

## Case 1

## 南神大寺団地自治会 × みんなの日本文化教室

自治会と地域団体が手を組み、それぞれの課題を解決  
浴衣の着付け紹介で、外国人の地域デビュー応援



■南神大寺団地自治会の集会所でイベント「親子で浴衣を着てみよう！」が、7月4日に実施された。

このイベントは、課題を持つ2つの団体が協力することで、お互いの課題を解決しやすくなるのではと、地域力推進担当が橋渡ししたもの。

■課題を持つ団体の一つ《南神大寺団地自治会》は、1430世帯が住む全15棟で構成される高層賃貸住宅。自治会加入率は4割と低く、最近では、外国人の住民も増えている。支援3年目となる**かながわ地域支援補助金**で、自治会未加入者を含む災害に強い地域力向上プロジェクトを実施している。その防災イベントに外国人居住者が参加したのをきっかけに、昨年はじめて外国人との交流会を実施した。少しずつ顔見知りになってきている

が、さらに地域のことを理解してもらう場が必要だと考えている。

■もう一つの団体《みんなの日本文化教室》は、外国人居住者の多い神奈川区の国際交流の促進を地域課題と捉え、日本文化を体験し知ってもらう活動をしている。**かながわ地域支援補助金**の支援を受けて2年目。昨年は、地区センターで講座を実施したが、思うように参加者が増えなかった。今年度は地区センターだけでなく、外国人が多く住むエリアに直接外向き講座を開く計画を考えていた。

■イベントは、毎年行われる団地の夏祭りでも外国人の方にも浴衣を着てもらい、地域をさらに知ってもらう機会にするのがねらい。当日は、地域の方のほか、中国、インドの方が参加され、浴衣の着付けを通して日本文化に触れる機会となった。



① ② 帯の結び方のバリエーションを教わり「なるほどね～」とプロの技に関心しきり。

③ ④ 地域の方がご厚意で譲ってくれた浴衣や帯

■ 今回のイベントのまとめ役だった《南神大寺団地自治会》の森岡さんは「外国人の方に自治会を理解してもらうことはなかなか難しい。でも焦らず、交流できる場をこれからも増やしていきたい。」

■ 浴衣の着付けを指導した《みんなの日本文化教室》の小西さんは「これをきっかけに他の地域にも出向いてみたい」と意気込む。

また、参加した地域の方からも「ワンパターンだった帯の結び方も、ちょっとしたコツで変化がでることに驚いた。外国人の方も喜んでくれて楽しかった。来年もぜひ！」との声が上がっていた。

■ 参加するはずだった外国人の方が来ないハプニングはあったが、地域の方が外国人の方に気を配りながら、一緒に浴衣の着付けを楽しむ姿が印象的だった。

■ 《南神大寺団地自治会》では、住民が広く緩やかに地域活動に取り込む工夫として、5年前から「きずなの会」という会員以外でも興味のある自治会の活動に参加できる会を発足させている。今回のイベントも自治会と「きずなの会」が共催で実施することで、まだ会員ではない外国人の方も気軽に参加できたようだ。そのかいあってか「インドの方があその後、自治会に入会されました！」と嬉しい報告をもらった。森岡さんらの地道な地域活動が実を結んだのだろう。